

# バストス週報

NO. 149  
 昭和八年  
 一月十三日  
 発行  
 登録人 森幸一  
 代理  
 雑誌自治会  
 C.P. 26

代誌  
 一年六十針  
 外部七十針  
 発行所  
 バストス週報社  
 RUA PRES.  
 VARGAS  
 C. P. 112  
 発行人  
 織田未音

バストス週報  
 楽週報

NO. 149 EASTOS, 13 DE JANEIRO DE 1953 O PROGRESSISTA REG. 4375 S. PAULO A/P

## へちま閑談 9 歌謡コンクール

○週日(一月三日夜)にひばり音楽団主催  
 の「自慢大會」をやつて大成功だった。  
 後援は自治会、聯青、所の有志等。  
 歌身は世話役が完璧を期して、  
 たいげに目的通りの金を集めて、  
 イケレ、ジャにも十分秋  
 全未だし、楽団の楽券  
 購入資金の足しにもな  
 った。本日アナウンサー



カーサス・ペルナンブカナ  
 皆さまの 可愛顧に  
 わくい度く  
 よい品を 思ひさり  
 安い値で

巧妙な司會派により終演に到るも  
 スムースに進行した事。出演者が何れも  
 張りつめて十五分に唄ったこと、聴衆の  
 行儀がよかつたこと、何れも此の種の佳  
 しとして今迄にない未栄元であつた。  
 口外観的には以上の如く大成功だった。  
 大は内容はとうであつたが、歌はうまか  
 ったか、のどの方はよかつたか、或は出  
 演の楽団の未栄元は？とさかされると  
 この方は残念な義理にも成功で、たと  
 は去へない。

○この事に關して少しく愚見を述べて見  
 たい。音楽を愛好する者の一人として、  
 底からの忠告を提供したいと思ふのであ  
 る。(決して無責任な悪口などはいわな  
 けり)。  
 の甜の郊に浪花節があつた。浪花節を喜  
 むといふのは、浪花節とやらをせよ、  
 さら一守とそれた。メロイも振えてや  
 きて、棒立ちになつてマイクの前に枕  
 けた、見たところでナイフシカぬが、  
 赤坂に救ひがたいものである。万歳落  
 等々、のどから出るのだからといふ理由  
 で、出目録にはのつていたようだが、エ  
 ンゼツ万の申込があつたら許せぬとい  
 なるまい。落後や万歳はよいが演説は  
 けやいと言ふ限界は成さないことにな  
 だかりは人とうの事を言へば、説教や万  
 歳、引いては浪曲等を題目に加へよう  
 する意図がまちがつてゐるのである。  
 演壇大會は他日企画してやういふ方面の  
 希望を叶へてやるべきであつて、その  
 博一かうははつれた方が無難である。  
 の、結の部には、奉為民謡をもつと奨励す  
 べきである。民謡とはなごきや、奨励す  
 和樂と云ふべきは、三味線のせで唄つた  
 昔からの歌、浮瑠璃や博元、新内は長く  
 て、いかぬから地唄唄ふといふ唄ふ人があ  
 つて、よむい答だし、流行歌にとりぬ突  
 績を挙げらるであらう。

ク ラ イ ト ッ ク ス  
**CLAYTOX**  
 3 — 70 — 40

バストス  
 産業組合

棉 · アメンドイン · 野菜

の殺虫消毒に  
 効果一〇〇%  
 有名な  
 クライトックス  
 ミーローイ  
 格安にて  
 分譲いたします  
 數量に制限があり  
 ますので 至急  
 御申込み下さい

FAZENDAS  
**ASAS PERNAMBUCANA**  
 FILIAES EM TODO O BRASIL

皆さんの店！ペルナンブカーナス

カーサス・ペルナンブカナ

差よぶる 用意が出来ました。  
 たとへフルーボの一枚でも  
 カリボス・ペルナンブカナ  
 の名をお忘れなく……

# ラジオは

無用の長物だ……

といふには、電気も飛行機も、みな魚用の長物になり相です。

仕事の合間、お食事の時、寝た時一寸スイッチを捻って、音楽、ニュースを聞き楽しみませう。

○一台のラジオは一家和楽のもと、

よいラジオを原價で

提供する取次人

## 梶田伊勢松

(原元齒科医院)前

を御利用下さい

御一報次々参上

### 訂正

前号所載ホトトギス十二月入選あるは一月号の誤記につき訂正

そんなら十二月はどうなっているか？

ホトトギス十二月号入選句

恋猫の落せし鈴は日本もの 吹本菊子

驚く勿れバスターは只一人きり、

○天狗鼻へし折られたる魚月かな(馬笑)

アララギ十一月号(一首組)

バスター歌会入選歌

夢葉を積みて死骸を焼くといふ

大目方傳の俳句すこまじ(折田井朔)

郷愁など思はざりしが仕舞場にて

つかりてふと伊豆を戀ひ思ふ

(池田文詩緒)

今さして行くあり濡れて行くしあり

雨の聖市の午後の雑踏(木村重半鈴)

首白き雛も混りてファンゴラは

川辺の草をくぐりつゝ鳴く

(森重林美)

この國に残る二人のけりからも

老呆けて互みに安否氣遣ふ

(真神鳴草)

○現に此の方では中村國政君は米山を唄つて上出来だった。のど自慢は、青年男女の流行歌に、いつて老壮年も、日本情緒豊かきものを出品してよいであらう。

○しかれ、ここで考へ度いことは「のど自慢」といふ言葉の通俗性といふが、藝術(?)の仲間入りの出来相がある以上、今少し、藝術(?)の仲間入りの出来相名前には、まゝものであらうか、何も之はバスターで、流でもよく、バスターだけの問題として取り上げることは、ないかも知れぬが、もっと感心のよい言葉があれば、サツと取り替へてさしつかへなく、のど自慢にとつて代つて「歌謡コンクール」といふ言葉を、金伯と原藤ととて改良こそあれ改悪ではない、音楽を愛し歌を愛する程の人であれば、さういふ問題でも、ごつちでもよい、いつて知らぬ顔はせぬであらう。

○現に、バスター音楽団では、何となく固まらぬ、やわらかいといふので、「いはり楽団」と改題したのがある。さきかや愛ける感とは、それ程ホリケイトでもない。のど自慢といふ、さても俗悪な名称であることよ、サレバワでは、歌合戦と云つては相だが、ものど自慢に、あまたならなくて出来た新語であらう。○コンクールといふ佛語は競技といふ事だ相だが日本では音楽などの競技会の意味に使はれて、いかに試みに用いた歌謡コンクールといふので、しかもハイカラではないか、歌謡といふ、唄ふ歌のことである。流行歌でも童謡でも、日本ものでよくてさしつかへないことはある。

○序賛成の諸君は何卒情き一票を！  
○ところで、ここに問題が一つ起る。のど自慢であれば、美声で評選しがよければ、テンポの如きは余り重きを置かんとし、こゝろがある。然るに、各地ののど自慢大会の審査振りを見るに、テンポに重きを置くとし、去年つりやの小林先生が見えた時も、講評の時、諸君は正しく習つていないから、テンポが狂つてゐる人が多かった。出来ただけ、正確に勉強するようにと云つてゐるのである。

○かく、かくテンポに重きを置く以上、それはもうのど自慢に非ずして、一段格を引上げて歌謡曲シクルだといつてゐる人がある。曲といふのは、まづ研究の余地はあるが、歌ふ歌である以上、美声、声量だけでは、いけない。出来る限り正確な間拍子で歌ふそらはねば、こゝろ、美声、テンポ、この三つは、歌の要素、まゝよく同点でなければならぬ。そして、その次に態度、も亦重要だが、これは音楽以外のいふ、お場合にも言はれることだから、点をつけるなら、軽くして置くべきであらう。

### 仙人掌初句會

一月四日

五、氣疲れの妻に早寝の三日かな 枯木  
 道具箱に蟬を鳴かせて靴磨 〃  
 四、数の子や朱玉の酒に紋が浮く 稲花  
 三、ゆたかなる湯に夕蟬とさく浮エ 紅蓮  
 未だときめ行かぬと決めて後正月 八ツの  
 炎天や跛の犬の長さ古 南季  
 毎日の同じ此の部屋寝正月 和枝  
 待ち雨のありたるまゝに寝正月 余滴  
 新世帯 数の子もろへ恙なし 素斗  
 かびくさき 鎌となりたる三日哉 北斗  
 朝暉や すばにやけつく 鉄扉 春歩

の又更よりつづく

○今度は最初の催しだから、あまりやかましく、まへまへが、素人のことだから、若いものことだからといつて甘やかしてまゝと、いつまでたつても、のれな自慢で行詰りと成るし、此の種の折角の催しも、必お記がれてしまふ、次回には、いろいろの面で、さすがに勉強したなと感ぜさせる様子を成績でないといけな。

○歌ひさへすればよいとはいけな、正しく歌ふ修練をいつてせむい度い。

○男子の方には、歌詞を忘れたり、はじめてから調子を外して、どりやほしをした人が次山あつた。

次回からは充分に練習して、ああ言ふ嬉態をくりかへさなすい様に預ひ度い。

○出演者は聴衆を感動させる事を目標のうちに、道遊を態度を以て全精神を之に打ち込んぬ、ステージに立たなければいけな。中には半分茶化したまゝな風持を露骨にありわらへて居る人もあつたように思ふ。

○次は楽団の注文であらうが、(次号へつづく)



クロリア區

桑原久次郎

市衛地より僅か式キロ

### 御詔勅奉戴論

2

此の一文は一九四五年十二月末當時の青年団幹部諸氏に送つた公開狀的書簡である例の勝つた買けた問題でござつた返して居る時だつたので肩籠り底に叩き込まれて日の目を見なかつたものである。

今更々、顔色をかへすに、よめる尸史物である (M生)

此の問題は老壯青何れの年配に於ても共通性がある為めか青年だから判断が正しいとか老年だから推理を誤るといふものではないらしい。大別すると性格よりするものが大〇%、教育學問の面よりするもの二〇%、宗教的的信念がらくるもの二〇%。勿論嚴密な意味ではないが本来の性格から左右二道に分れるものであることが、判つた。

始め「赤」だと思つたが、よく見ると、それは夕陽の反射によつて赤く見えただけであつて、實際は紫色であつたといふこともあるのである。調べて見れば紫色であるのに最初の印象のみ、事實の奈何に拘はらず「赤」と思ひ込んでしまふこともある。あやまりは、そこから生まれる。

阿部、菅波両氏の説は一般団員の喜ぶところとなり、敗戦確認の汚名により遂に引退の余儀なきに至つた。

九月廿二日水本委員長の斡旋により両氏は聯青幹部を退き、佐藤重吉君が総務部長兼文化部長として之に代る事となつた。一と先づ之で切まつた形である。

引退した右は団内の挫折を認めたことは確だが、或れを宣傳した事實はない、しかし立場上自己の「赤」を述べ述べるのは当然であつて、自己一方の安全、為めに口舌を二枚に使ひ分けるが如き曖昧な態度と執らなかつたことと多々とする。

自己の所信を率直に述べた事が同事件を正反対に考へている人達から快く思はれなかつたことは、蓋し止むを得ない成行きであつたであらう。

新総務佐藤重吉君は性、温厚、つとめて時局問題から遠がつていた様子であるが辭職に時の逕過するを待ち、徐うに認識と是正する事を以て策としていたと思はれるが、十月十七日、公報傳達を執行した。

ケロゼーネ

# 石油は

## 断然市價の尖端をゆく

# ポスト・シエール

(後藤 峯一)

お求め下さい

一罐 五五ケルペーロ

事から端を発し、結局団員の信望を裏切つてしまつた。勿論これ臆測で「公報傳達」は証が団長であり総務であつても、しなれば有りぬけ事であつて佐藤を排撃の原因ではないかも知れぬが一人々の胸を打診すれば「時局に對して戦勝確信をもつ人を指導者として推せんしたい」といふのが本音らしい。

もう少し立ち入つて話をすると公報傳達式を執行了た日、畑中、溝部、山中、三氏及私を同席へ招き、これそれの立場から時局に關する話をしたのであるが、そのうち「ポスター」を佐藤君が立てたこと、それ自体が好ましくなかつたのではないが、公報傳達に事よせて押しつけがましく所謂「欺戦確認運動」をやつてける現幹部にも好感が持てないのであつた。

その日(十月廿七日)同席上、  
 1. 真剣に戦勝を主張するある団長  
 2. 御詔勅の偽作を疑つて拝受出来ないと嘆息  
 3. 公報接受後は、之にまつて行動は一にするが胸中敗戦は承認しがたいといふ人

等々、よく意見を聞かされた。感じ入つた一個の日本人と云ふを考へる時此の位矛盾した問題は少いであらう。  
 天皇陛下の御詔勅とあらは受けをいわけにいかず、さりとて急に日本の歩折をアセイヌするのはいやだ、といふのが本音である。  
 その後カスカタ青年団は聯青脱退を申立てた由であるが、佐藤総務の苦により一應事無きを得たが、しかし事態はこれを契機として団の紛糾を将来する怖れが濃厚となつた模様である。

そこで十一月八日聯青では委員會を同僚し、団の将来に關し協議したところ、団を解散する如き日非、あく迄此の組織を擁護す

る申合せが出来たとの事であつた。  
 十一月十日、聯青總會前催、役員改選の結果十八団体の投票により(内、リノ青年団脱退、ポスター、青年団投票棄権)新団長加納宗助君、副団長大野英雄君がそれ、幹部に推戴されることとなつた。  
 茲に八月下旬以来低迷していた空氣は一掃され、聯青組織にも変化を見ず、次年度への体勢が一と先づ整つたわけである。

幕末の頃日本に等皇攘夷流と佐幕開港論が鏗り割つたことがあつた。周知の通り之は現実の問題を甲論乙駁したもので何れを以て國本とするかを主張しあつたのである。  
 然るに今次聯青で取扱つた問題は「現実日本の海」が我々の肉眼で見えないことを奇貨とし、勝敗を衆議で決した事件であるから、頗る興味深いと思ふのである。

單にそれ以上の事なれば見戲に類するものと見て看過出来るが、引退せる旧幹部の取扱つた公報傳達に關して、之に不満を抱いた結果であるとする、茲に少からぬ問題を殆くたのではないかと考へざるを得ないのである。  
 「公報接受を承認すれば八月十四日の御詔勅を拝受したことになる、が此の問題に觸れるのは不都合であるから、公報には頼被りとする、或は公報かも知れないけれど、西郷由の途中、敵側スパイの手によつて全然吹散されたものが届けられたのである」と解釋して受取らぬに如かず」とする説が有甚力であつた由である。

かう考へると自由のようなもの、公報接受に伴ひ御詔勅奉戴を回避する事実は免れる事は出来ない、何人の行動をどうも知らず、団の名を以て公然御詔勅奉戴を拒むが如き事があるとする、將來此の問題が詳しく判明した場合、どの様な責任を以て應へ奉らうとするつもりであらうか。

精神的には不敬を行ひ公人とせば公職を諱して不明不達の罪を天下に詫げなければならぬ事勿論である、御詔勅奉戴拒否を以て団員指導方針となすが如きは、その非、愧死に償すべき問題である。

或は言ふであらう、「御詔勅を奉戴せぬと云ふのではない、奉戴はするが、戦勝日本を信じ、その方針で団の統率を計るのである」と、新役員諸氏、如何に技術をつくすとも、  
 (次頁へ)

### バストス椰子樹歌會

#### 新年初歌會 一人一首

阪東啓二  
 茄子賣りの未だれば茄子に賞を得  
 いまなき若波先生を想ふ

南 惠樹  
 火熾狂ふ詩かに人を想ふかな  
 愕然とするこれが君よりの年賀状

石橋奇峯  
 愛し児を不慮に死なせし其の日より  
 運命論を黙して聞けられ

小松修水  
 定刻の朝の八時に店開ける  
 早湯さあがるくも西空に

池田夜詩緒  
 憶すなく四十にみたぬ未嫁後まと  
 自己慰せし定野々は年より君

茂田孤舟  
 今日の日忙しかりしを思ひつ  
 つかぬ腕に末の子を抱く

阿部阿風  
 神と稱る父珍らしみ子等もみ  
 つつおしやかに拍手をうつ

森重洋鈴  
 生きてゐることの味いぬ  
 病みゐて静けさ呼吸おしつ

森重扶美  
 賞ひ来し越年手当き子は吾に  
 捧ぐる如く笑ひ渡す

重道千代子  
 たまたかに 丈と旅して遠き日の  
 想ふおれり ほゝえみ合ひぬ

(下段へつづく)

### 蛍光燈

- ◎こころよい自然の明るさ
- ◎40Wの電力で200Wの光力がある

蛍光燈をおすすめ致します  
 いよ／＼バストスに新しい電氣  
 がはいりました。安くて明るい  
 蛍光燈をつけましょう

先着百名(百燈)限り取付  
 無料奉仕いたします

電球 40W	60.00
蛍光燈 40W	130.00
ソケット	24.00
スズナフ	18.00
計	232.00

40Wは上記実費取付  
 けすす  
 200Wは、いくらか安くす  
 ます

新設ビルネラ ホント角

上方島商店 電氣部

### 真神 鳴草

不遇と診立て患者慰の去る医師の  
 ますべなき首を家人に告げる

三教はら  
 除夜の鐘 遠に聴かふりにかか  
 黎明近し 新一の年の

吹本菊子  
 雲低く垂れて小雨の降り止まず  
 飛びぬる羽の次々に落ち

山本秋扇  
 年あらたまる頃より雨の降り初め  
 一月十日 今日も降りつづ

### 奉戴論

その様な曲藝的指導は困難であらう。然ら  
 く各団幹部の方々と虽へども、かゝる二元的  
 方針は不可能であらうと思はれる。  
 甲の場合  
 御詔勅を奉戴するや否や(答)奉戴する  
 又指導方針如何(答)戦勝日本の意氣  
 を以て根本義とす

乙の場合  
 御詔勅奉戴の儀如何(答)奉戴せず  
 又所信如何(答)能く是戦勝を主張し之を信  
 ず  
 丙の方針如何(答)在伯青年団の指導原理  
 は戦勝一本す

### 丙の場合

1. 御詔勅を正しく奉戴する
2. 大御心のまゝに行動する事と以て百道の  
 実践と拝奉す。
3. 奮起再建に努力する事と以て青年団の  
 目標とする。

以上三つの内、甲の場合を行くことは俗にいふ  
 レロ／＼戦術である。自家醜着偽臨政  
 策である。仮りに之を曲藝的指導と言つた  
 のである。

乙の場合には、はつきりしてゐる。胸中埋藏でなく  
 皆此の教令にして、さふのだから真相が判然  
 とした時どうにもならない結果となる。多くの  
 子弟に途方もない錯覚誤謬を興へる事に  
 対する後始末をどういふ風に解決するか。  
 丙の場合には、旧幹部が執った態度である。  
 一と引退したが決して大死ではなかつた。後日  
 斯くの如く再び指導される事を信する。

此の一文は、決して、今日之を再読  
 すると、その頃の勝敗論争が有りしを  
 想ふが、主島燈の如く、面白く、  
 悲しい、心を後射す氣持がする……

福引券 大賣出し 當籤發表

等級	當籤番号	等	名	御住所	賞品
老等	一一〇	一	塩館	サウイ六区	自轉車 LUXOR
貳等	七七二	二	渡邊	中央区	柱時計
參等	二九三	三	柿本	カスカッタ区	ホオゴ
四等	九三三	四	塩館	サウイ六区	バネリヤ
五等	三一七	五	早川	中央区	壓力鍋
六等	一一八	六	小倉	ウニオン区	日産時計
七等	五六二	七	池田	サウイ六区	アモリ
八等	〇七	八	湯越	ウニオン区	ジョーゴテシンセイ
九等	八三	九	溝口	ウニオン区	應法壇
十等	四一	十	樋口	ウニオン区	バンテイヤ

以下五十等マホ シネマ 入場券 道屋

11	一三八	ゴトリス	ハラナ	25	六一九	柿本	カスカッタ	38	五八六	古賀	サウイ六
12	一六八	上山	カスカッタ	26	五一四	古田	フルワラ	39	五六四	池田	ウニオン
13	七〇八	貝岐	ボンヤン	27	三一	セントラル	中央	40	四二四	池田	ランヤク
14	七一五	富田	フカレツ	28	一九四	杉	中央	41	二二七	奥山	ホシヤク
15	四九八	嶋原	アルト	29	七六四	渡辺	中央	42	八七五	手島	バカニヤ
16	七八六	渡辺	中央	30	三四	招井	アルト	43	四六八	井上	カスカッタ
17	五八五	古賀	サウイ六	31	五二	奥田	中央	44	二四五	大貫	カスカッタ
18	四五	荒井	ウニオン	32	五六六	池田	ウニオン	45	三六	古田	フルワラ
19	六九七	信太	中央	33	四九四	高谷	中央	46	四六	荒井	ウニオン
20	八六一	桑原	カスカッタ	34	七八八	小倉	中央	47	七四五	龜田	中央
21	一六一	淡谷	カスカッタ	35	五六〇	池田	ウニオン	48	二	大名門	中央
22	八八八	長橋	カスカッタ	36	一四六	竹原	中央	49	七一三	貝岐	ボンヤク
23	七九七	相川	中央	37	六〇五	富吉	サウイ六	50	五三三	佐ノル	中央
24	二六八	入江	ウニオン								

右之通り抽籤の結果を御報告申上いたします。

〔抽籤法は立會人として〔宇越様及重道に御願ひして御抽籤下さいました〕

御當籤の御方は福引券御持参の上御来店下さる様御願致します

一九五三年一月五日

バザールキング

赤林 雜貨店

皇太子殿下の立太子礼と御成婚式の時に  
仰せ出されたる

御題 菊 久栄

新洋牛丸上

御登りの久に栄えん咲き初め  
雲井の庭に白菊の花

新學期開始

カンフ テレジンニア

福龍裁縫女學校

アベニカパワラス 知能園上階用  
安んて守巻を贈る 福龍才え子  
寄宿舍の設備あり